

## 私の夢と目標

宮城県女川町立女川中学校

三年 齊藤彩 今

私は少し前まで、将来自分が何をしたいのか、どんな職につき、どんな大人になりたいのか、夢や目標というものが全くありませんでした。「とりあえず働いて、安定した生活ができればいい」としか考えていませんでした。しかし今、私には夢と目標があります。

私は今年の七月に地域で毎年行われている海外派遣事業に参加しました。学校の先生に声をかけられたのがきっかけでした。初めは他の中学校の人たちと海外に行き、ホームステイをする、ということ自分でできる自信がなく断っていました。それでも先生は諦めずに、何度も声を掛けてくれ、しだいに私もやりたいことが見つかるかとも思い始めたのと、母が「減多にできない経験だから行って見たら？」と背中を押してくれ、参加することにしました。そしてこの体験の中で夢と目標ができました。

私の夢は「いつかまた海外に行って現地の人とたくさん話すこと」です。私が参加した事業の海外研修では学校訪問とホームステイがありました。もともと英語は得意ではありませんでした。しかしコミュニケーションをとるには英語で会話をしなければいけません。そんな心配をよそに、バディもホス

トファミリーも私が話すことを一生懸命聞いてくれ、理解しようとしてくれました。また、私が聞きとりやすいようにゆっくり話してくれたり、簡単な英語を使ってくれたりもしました。そのおかげで自分の言いたいことが相手に伝わった時はとても嬉しく、英語の楽しさを学ぶことができました。他にも、現地の空港内で買い物をした時に私たちがお金をびったり出すと定員さんが「nice!」と言ってくれたり、店を出る時に日本語で「ありがとう」と言ってくれ、とても嬉しく感じるようになりました。しかし、嬉しいだけでなく悔しく思ったところもあります。実際なにか話そうとすると自信のなさから声が小さくなってしまったり、なかなか言葉が出てこないこともあり、伝えたいことが伝えられない時もありました。とはいえ、この悔しいや嬉しいと思える経験があったからこそ、私には英語で会話することをリベンジしたい、また海外に行きたい、という夢ができました。

目標は「感謝の気持ちと出会いを大切にする大人になる」ことです。私は、初めの研修では他の人となかなか打ち解けられず班長になっても自分の班をまとめられるのか、仕事をしつかりこなせるのか不安ばかりでしたが海外ではそんな不安を忘れるくらい楽しく過ごすことができました。それは先生方や旅行会社の方、ホストファミリー、親、そして何よりも、一緒に研修に行った仲間のおかげでした。この研修が終わった時、私はたくさんの人たちと関わることができて本当に良かった、貴重な経験をさせてもらいありがたいなと感じることができました。また、日頃から自分は誰かに支えられて過ごしているんだなと感じることもでき、これからも感謝の気持ちを忘れずに過ごせる人になりたい。人との出会いを大切にしたいと強く思いました。

今私は、この事業に参加して本当に良かったと思っています。夢や目標を見つけれただけでなく、世界にはどんな仕事があるのか、どんな人生の歩み方があるのかたくさん学ぶことができ、自分の将来のために視野を広げることができました。初めての経験だからこそ気づけた勇氣を出して頑張ることの楽しさを知り、不安なことに挑戦する力をつけることができ、普段とは違う生活の中で大きく成長することができました。夢や目標はありますが、自分がやりたい仕事はまだ見つかっていません。しかし、これからの生活の中で本当に自分がやりたいこと、頑張りたいことを見つけれられるように今回の挑戦や成長を最大限に活かしていきたいと思えます。